

法学部の教育体制 ～多様なカリキュラムときめ細かな指導体制～

法学と政治学を学ぶ ～多様な教育体制～

岡山大学の教育は、全学部
の学生が共通に学習する**教養教育
科目**と、各学部で実施される**専
門教育科目**（専門科目）の2つに
大別されます。その中で、法学部
では、学生が自分の関心や目的
に沿って法学・政治学を効果的
に学ぶことができるように、多
様な教育体制が組まれています。

段階的・体系的に 配置された専門科目

法学部の教育は、社会で必要な広い視野とリー
ガル・マインド（法的思考能力）を身につけるこ
とを目標としています。そのため、昼間コースで
は、1年次に入門科目を中心とした基礎的な専門
科目（法政基礎科目）を学び、2年次から本格的
に専門科目（法政共通科目、グローバル法政科目）
を学んでいきます。これらをベースにして3年次
以降はより応用的な科目に進みます。

主に3年次以降に配当される専門科目について
は、公務員を目指す「**公共法政コース**」、民間企
業を目指す「**企業法務コース**」および法律専門職
を目指す「**法律専門職コース**」の3つの履修コ
ースを置き、学生の皆さんの体系的な学習をサポ
ートしています。

各学年での少人数教育

きめ細かい指導に基づく少人数教育が各
学年で実施されており、個別の報告と議論
を通じてより理解を深めることができます。

- ①**ガイダンス科目 — 法政基礎演習**
まず1年次生には、学生生活上のガイ
ダンスを兼ねた入門科目として「法政基礎
演習」が開講されています。裁判傍聴な
ども行います。
- ②**ゼミ — 演習Ⅰ、演習Ⅱ**
2年次以降は、少人数形式の演習（ゼミ）
が開講されています。2年次に開講され
る「演習Ⅰ」と、3・4年次生のための
「演習Ⅱ」があります。

カリキュラムチャート（夜間主コース）

夜間主コースの教育課程は4
年間一貫教育で、1年次から専
門科目を履修することができ、
4年次まで系統立った学習がで
きるよう配慮された科目配当が
なされています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	○導入教育科目 ○知的理解科目 ○実践知・感性科目 ○言語科目 など	「契約法」 「刑法総論」 「会社法」 など	○ 市民法系の科目 「親族法」「相続法」「刑法各論」「刑事訴訟法」 「企業取引法」「民事訴訟法」「国際取引法」 「アジア法」「演習」 など	
専門教育科目	「憲法」 「民法総則・物権総論」 「現代社会と政治」 など	「行政法」 など	○ 公共政策系の科目 「税法」「雇用関係法」「国際法各論」「国連法」 「西洋政治思想史」「比較政治」「行政学」 「法哲学」「法史学」「法社会学概論」「演習」 など	

グローバル化支援体制

岡山大学は、我が国のグローバル化を牽引する大学として、
全学を挙げて大学のグローバル化に取り組んでいます。



岡山大学では、どの学部の学生も、英語力・書面審査等による選抜を経て、副専攻として**グローバル人材育成特別コース（Gコース）**に所属することができます。

毎年、多くの法学部生がGコースで学んでおり、法学部の授業のほかに、留学に必要な総合的な英語力を養うためのプログラムや、英語による専門科目を履修しています。Gコースの学生の多くが、岡山大学と国際交流協定を結んでいる大学に長期留学したり、インターンシップ、サマースクールに参加したりするなど、海外での学びを経験します。

岡山大学短期留学プログラム（EPOK）など全学のプログラムを利用して留学する機会は、Gコースに入っていない学生にも開かれています。さらに、法学部では、**英語の専門科目**（Reading English Law Literatures、English Common Law Precedent など）や**海外特別演習**（短期の海外研修）を用意するなど、学生が海外の法や政治、文化に触れることができる機会を積極的に設けています。

